



【プレス・リリース】

三菱地所、ドイツ証券単独主幹事にて 30 年社債発行

【2002 年 10 月 15 日、東京】 三菱地所株式会社（所在地：東京都千代田区、取締役社長：高木茂）は本日、ドイツ証券会社東京支店（所在地：東京都千代田区、支店長：ジョン・T・マクファーレン）を単独主幹事として、第 58 回無担保社債（担保提供制限等財務上特約無）を成功裡にローンチしました。

今回三菱地所株式会社が発行した国内公募社債は、発行総額 100 億円、利率は年 2.90% で、償還期限は 2032 年 5 月 20 日となっています。発行価格 100 円（額面）、払込期日は 2002 年 10 月 29 日です。

また、本社債は、株式会社格付投資情報センターから AA -（ダブルA マイナス）、ムーディーズ・インベスターズ・サービス・インクから A3（シングルA スリー）、スタンダード・アンド・プアーズ・クレジット・マーケット・サービシズから BBB +（トリプルB プラス）の格付けを取得しています。

ドイツ証券会社東京支店の中居英治債券本部長は、「国内 30 年公募社債は、これまで 4 件^{（注）}しか例がなく、強固な事業基盤に支えられた極めて選別された発行体のみがなし得る起債であると考えています。本件は更なる経営安定性の追求を目的とした資産・負債管理に基づき計画された起債であると同時に、資金調達プロファイルを超長期にわたり確立することで、今後あらゆる年限での資金調達オプションを確保するといった発行体の経営戦略に基づき実行された起債であります。かかる経営戦略の実施をお手伝い出来たことは弊社として大変誇りに思っております。また、30 年という超長期年限であることから、金利動向と投資家需要の把握に細心の留意を払いつつ、双方がうまく合致するタイミングにての発行となりました」と述べています。

以上

注：中部電力（1998 年 7 月）、中国電力（1999 年 11 月）、JR 東日本及び日本道路公団（共に本年 10 月）

ドイツ銀行グループは、総資産約 9,000 億ユーロを有し、8 万 4,500 人の従業員を擁する世界でも有数の金融機関として、世界 75 カ国で 1,200 万人を超える顧客の皆さまに幅広い金融サービスを提供しています。特に、資産運用、資金調達、投資銀行、キャッシュ・マネジメント、プライベート・バンキングの分野では、世界でもトップクラスの金融機関として、その地位を確立しています。ドイツ銀行グループでは、顧客重視の姿勢を一貫し、また顧客サービスをより強化するため、組織を「法人・機関投資家向けビジネス（CIB）」と「個人・資産運用ビジネス（PCAM）」の 2 つに集約しています。当グループでは、顧客重視、革新性、高い専門能力に裏付けられた幅広い商品およびサービス、強固な財務基盤こそが成功の鍵となるという考えのもと、グローバルな規模でビジネスを展開しています。

日本においては約 1,350 名の従業員を擁し、ドイツ証券会社東京支店、ドイツ銀行東京支店、投資顧問子会社等を通じ、企業金融、投資銀行業務、プライベートバンキング、資産運用などの広範なサービスを提供しています。

< この件に関するお問い合わせ先 >
コーポレート・コミュニケーションズ
安立 聖子
電話：（03）5156-7705